令和5年度 中央区運営方針の自己評価



令和6年6月27日 大阪市中央区役所

1 運営方針の策定について

「運営方針」は、各所属における当該年度の施策の選択と集中の方針を明示し、その概要 を示すものです。

企業活動などで使われる「戦略計画」(経営戦略)の考え方を行政に取り入れたもので、「部門ごとに、自らのミッション(使命・役割)を認識した上で、現状分析や将来予測などを踏まえ、めざすべき状態の実現に向けて解決すべき課題が何かを明らかにし、課題を解決するための効果的な方策を練り、その方策に即した具体的な行動を明らかにする。」という計画で、事業の実施によってめざす成果(状態の変化)の目標を測定可能な指標を用いて設定し、定期的に測定することで、達成状況をチェックし、フィードバックすることにより、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるPDCAサイクルの徹底を狙いとしています。

2 運営方針の自己評価について

策定した運営方針ついては、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるため、自己評価(年度末振り返り)を実施します。

運営方針において設定している目標の達成状況等について自己点検・評価(Check)を行うことによって施策・事業の改善・見直しを行い(Action)、当該年度の運営方針の改定や次年度の運営方針の策定、予算編成等に反映させること(Plan)につなげることを意図しています。

年度末時点の成果の達成状況を客観的に自己評価する年度末振り返りは、施策・事業のスパイラルアップに向けた実効性のある P D C A サイクルを推進するための重要なプロセスです。

3 PDCAサイクルの徹底について

PDCAは、Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) の頭文字 で、下記のように、PDCAという4つのプロセスからなる活動のサイクルを繰り返し、改善を継続していくための手法が、PDCAサイクルと呼ばれています。

このPDCAサイクルを回し続けることで、継続的に施策・事業の改善に取り組み、向上を 図ります。

● P I a n (計画):目標を設定し、達成のための具体的な行動計画をたてる

2 Do(実行):計画に沿って行動する

❸ Check (評価):成果を測定し、評価する

4 Action(改善):必要に応じて具体的な行動の修正や変更などの改善処置をとる

令和5年度 中央区運営方針の自己評価



「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」

目標	「大阪を代表するビジネス・観光の拠点として多くの人で"にぎわい"繰り返し訪れたくなる魅力的なまち」「豊かなコミュニティのもと"ふれあい"支え合う、ずっと暮らし続けたいまち」の実現
使命	"にぎわい"と"ふれあい"あふれるまちづくりを推進するため、次の使命を担う ・職員の福祉マインドを強化し、区民に寄り添い、気にかけ、気づき、必要な支援につなげる ・区民に生活の質向上を感じてもらえるよう、ICTを活用し行政サービスの利便性を高める ・戦略的な情報発信により、必要な時に必要な情報を区民に届ける ・公民連携して協働することにより、地域住民、商店会、企業・団体、大学等それぞれの持つ カを生かす
令和5年 度所属運 営の基本 的な考え 方	価値観の多様化やマンション等共同住宅の居住者が9割を超える中央区の特性をふまえ、マンションコミュニティと、行政、地域コミュニティが、より柔軟に"ゆるやかにつながるまちづくり"を各経営課題共通の基本方針とする。 住民同士のセーフティネットの構築をめざし、令和5年度には、その第1ステップとして、区民の関心の高い「防災」を切り口にマンションコミュニティへのアプローチに重点的に取り組

自己評価

中央区がめざす"ゆるやかにつながるまちづくり"の実現に向けて設定した「アウトカム指標」 (経営課題の進捗度合を示した指標)は、7項目全てにおいて目標を達成しており、めざす姿 の実現に向けて着実に進捗しているものと評価する。

今後の 方針 ションコミュニティと、行政、地域コミュニティが、より柔軟に"ゆるやかにつながるまちづくり"を各経営課題共通の基本方針とする。住民同士のセーフティネットの構築をめざし、令和6年度には、マンションでの防災対策の必要性がより強く伝わるよう、戦略的に情報発信し、「防災を切り口」にしたアプローチに着実に取り組む。加えて、「子育て」や「高齢者」などのテーマについても出前講座や出張相談等の開催事例を増やすことで、マンションと行政とがつながる入口を広げ、マンションコミュニティを醸成し、地域社会とのゆるやかなつながりを進めていく。

価値観の多様化やマンション等共同住宅の居住者が9割を超える当区の特性をふまえ、マン

【経営課題1】 繰り返し訪れたくなるにぎわいのあるまちづくり

1-1 にぎわい

5年度予算額

19,177千円

■ 課題認識

当区は古くから大阪の経済・文化の中心地として国内外から多くの人々が訪れ、近年は、大阪城や 道頓堀などで多くの外国人観光客が活況を呈してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により 国内はもとより、当区のにぎわいも深刻なダメージを受けている。

ダメージからの「再生」に取り組む商店会、企業、関係団体等と連携・協働し、「再生」とさらに その先をも見据え、地域が活性化し、持続的にまちがにぎわうよう取り組んでいく必要がある。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくり

・行政機関と商店会や企業、関係団体等と連携・協働し、地域や近隣に住む人々に愛され、内外から

多くの人が「繰り返し訪れたくなる」魅力を創出する。

・2025大阪・関西万博の開催機運の高まりとも連動させながら、歴史や文化に彩られ、なおもダイナミックに変容していくまちの魅力を戦略的に発信していく。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

中央区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信するまちの魅力情報発信コンテンツの閲覧数 ⇒ 令和4年度実績以上

■ アウトカム指標の達成状況(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A:達成 B:未達原	龙	4年度実績
上記コンテンツの閲覧数:465,487回	А	372,202回







中央区にぎわい発見サイト「大阪中心」。 区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で 発信するインターネットサイトです。 7月にとんぼりリバーウォークで「にぎわいスクエア」を 「大阪ミナミ夏祭り」と同時開催!道頓堀の夏のイベント として多くの来場者でにぎわいました。

【経営課題1】 繰り返し訪れたくなるにぎわいのあるまちづくり

1-1 にぎわい

6年度予算額

24,877千円









● 今後の方針

公民連携によるにぎわい情報発信「大阪中心」を充実し、内外のより多くの方に見ていただけるよう、同コンテンツの周知も強化していく。

国内外からの万博への来場者の立ち寄り先として、中央区で回遊し滞在してもらえるツールとして デジタルコンテンツを拡充していく。

デジタルが苦手な方を含めより幅広い方に情報をお届けできるよう、区の広報紙はもとより、ラジオやケーブルテレビ等とも連携しながら、内外からの来訪者を区全体で歓迎する機運の醸成に取り組む。

● 主な戦略

多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくり

・行政機関と商店会や企業、関係団体等と連携・協働し、地域や近隣に住む人々に愛され、内外から

多くの人が「繰り返し訪れたくなる」魅力を創出する。

・2025大阪・関西万博の開催機運の高まりとも連動させながら、歴史や文化に彩られ、なおもダイナミックに変容していくまちの魅力を戦略的に発信していく。

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

中央区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信するまちの魅力情報発信コンテンツの閲覧数 ⇒ 令和5年度実績以上

● 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)

- 万博の機運醸成と連動した情報発信
 - ●区広報媒体を活用し、万博をテーマに情報発信
 - ●万博をテーマとしたデジタルスタンプラリーのコンテンツ制作
 - ●万博機運醸成イベントの開催

【プロセス指標】

区広報媒体による万博の機運醸成を目的とした情報の発信回数 ⇒ 20回以上

- ② 商店会や企業、関係団体等との連携・協働による多彩な魅力の創出と発信コンテンツの充実
 - ●にぎわいスクエアの開催(継続)
 - ●にぎわい情報サイト「大阪中心」の周知・PRと情報の充実(継続)
 - ●スマホでめぐる!魅力ぎっしり中央区デジタルスタンプラリーの拡充(継続)
 - ●中央区まちのすぐれもん事業のPR(継続)

●SNSによる中央区魅力スホット等の紹介・PR(継続)				
【プロセス指標】	SNSによる中央区魅力スポット等の紹介・PR ⇨ 100回以上			

【経営課題2】 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり(その1)

2-1 防災 5年度予算額 2,305千円

■ 課題認識

マンション居住者の多い当区の特性に応じた具体の防災行動につながるよう、さらなる普及啓発が必要である。特に、地域と関わりの薄いマンション居住層へのアプローチ手法を新たに構築する必要がある。

中央区は大阪市で最も昼間人口が多く、昼間に大規模災害が発生した場合には多くの人が帰宅困難になることが想定されている。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

「マンション防災」を軸とした災害に強いまちづくり

- ・従来からの地域防災組織への支援を継続するとともに、マンション居住者向けの講演会やワーク ショップなどマンション固有の防災対策の必要性を普及啓発する。
- ・マンションの管理会社・管理組合にアプローチし、マンション単位での防災の取組状況や課題を 把握し、ニーズに合った支援をしていくことで、マンションコミュニティの防災力を高める。
- ・帰宅困難者を生み出さないため、企業等が自ら帰宅抑制や備蓄などの対策をとるよう働きかける。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

区内マンションと防災に関わる支援等のアクションにつながった回数

⇒ R9年度末までに延べ200件以上

■ アウトカム指標の達成状況(定量評価)

5年度実績と達成状況	※A:達成 B:未達原	戉	4年度実績
5 5件		А	_



7月には、「南海トラフ地震を前にマンション防災を考える」を テーマに講演会を開催しました。

講演会終了後には個別相談会も実施し、マンション関係者へ直接アプローチすることも出来ました。

今後も、災害への備えの大切さを 広めていきます。

【経営課題2】 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり(その1)

2-1 防災

6年度予算額

2,305千円

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS









● 今後の方針

中央区では、マンションなど強固な建物にお住まいの方には、「在宅避難の備え」を進めていただくよう取り組んでいる。今後も、「災害時避難所とは家屋の倒壊など自宅で住めなくなった方に生活機能を提供する場所である」ことなど、すべての区民に必要な情報を届けるよう啓発を強化する。マンション防災では、マンションにお住まいで地域活動や福祉活動など行っている地域のキーパーソンに協力を求めながら啓発を進め、ゆるやかなつながりを促進していく。

● 主な戦略

「マンション防災」を軸とした災害に強いまちづくり

- ・従来からの地域防災組織への支援を継続するとともに、マンション居住者向けの講演会やワーク ショップなどマンション固有の防災対策の必要性を普及啓発する。
- ・マンションの管理会社・管理組合にアプローチし、マンション単位での防災の取組状況や課題を 把握し、ニーズに合った支援をしていくことで、マンションコミュニティの防災力を高める。
- ・帰宅困難者を生み出さないため、企業等が自ら帰宅抑制や備蓄などの対策をとるよう働きかける。

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

アウトカム指標

区内マンションと防災に関わる支援等のアクションにつながった回数

⇒ R9年度末までに延べ200回以上

- 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)
- 大規模災害に備え、マンション防災を中心とした取組を推進
 - ●マンション防災講演会の実施(1回)(継続)
 - ●広報紙に防災特集記事を掲載(1回)
 - ●区役所ロビーを活用した防災パネル展の実施(1回)

プロセス指標

地域防災訓練や出前講座で、災害に備えて備蓄が必要だと感じた参加者の割合

⇒ 90%

- 2 地域による防災の取組支援
 - ●地域防災リーダー訓練・研修の実施(継続)
 - ●避難所開設運営訓練支援(25地域)(継続)
 - ●広報紙やHPによる防災パートナー登録制度の周知(継続)

プロセス指標

訓練等が地域防災力の強化・向上につながっていると考える訓練参加者の割合

⇒ 90%

【経営課題2】安全・安心で快適に暮らせるまちづくり(その2)

2-2 防犯・環境浄化

5 予算額

8,866千円

■ 課題認識

2025大阪・関西万博の開催にあわせ、まちの環境美化にかかる区民の意識をより向上する必要がある。

区民の犯罪被害を防ぐための普及啓発に継続して取り組んでいく必要がある。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

まちを愛する区民とつくる安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

- ・防犯キャンペーンを定期的に実施するとともに、広報紙やホームページ等で効果的な防犯啓発活動の情報発信を行う。
- ・2025大阪・関西万博の開催の機運醸成とあわせ、地域や企業との協働によるまちの環境美化キャンペーンなど、まちを愛する多くの区民が参加するまちづくりに取り組む。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

まちの環境美化活動に参加したボランティアの数 ⇨ 延べ1,000人以上/年

■ アウトカム指標の達成状況(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A:達成 B:未達原	戊	4年度実績
1,447人	Α	965人



戎橋筋商店街振興組合さん主催の戎橋橋洗いの記念写真です。約90人もの参加がありました。

【経営課題2】安全・安心で快適に暮らせるまちづくり(その2)

2-2 防犯・環境浄化

6年度予算額

12,967千円











● 今後の方針

放置自転車対策として、中央区内ではリアルタイム撤去を行っている。地域団体とも意見交換を行い、自転車(電動スクーターや電動キックボードを含む)利用のマナー啓発等の放置自転車対策に 公民連携して取り組む。

春秋の中央区環境強化月間における公民連携による環境美化キャンペーンに多くの方に参加いただ くよう引き続き取り組む。

● 主な戦略

まちを愛する区民とつくる安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

- ・防犯キャンペーンを定期的に実施するとともに、広報紙やホームページ等で効果的な防犯啓発活動の情報発信を行う。
- ・2025大阪・関西万博の開催の機運醸成とあわせ、地域や企業との協働によるまちの環境美化キャンペーンなど、まちを愛する多くの区民が参加するまちづくりに取り組む。

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

まちの環境美化活動に参加したボランティアの数 ⇒ 延べ1,000人以上/年

● 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)

- 万博の機運醸成と連動した商店会や企業、関係団体等との協働による環境浄化
 - ●環境浄化イベント等開催時に万博法被の着用やのぼり・横断幕を掲出し機運醸成を図る
 - ●区民や地元商店会、企業、NPOとの協働した清掃活動(継続)
 - ●放置自転車啓発指導員の配置 (継続)
 - ●路上喫煙禁止地区の周知・啓発(継続)

プロセス指標

商店会や企業、関係団体等との協働による環境浄化活動 ⇒ 10回以上

- ❷ 警察・地域と連携した防犯活動と区民への防犯に関する情報発信
 - ●街頭における犯罪等撲滅に向けた啓発キャンペーン(継続)
 - ●防犯教室・交通安全教室を広報紙で周知(1回) (継続)
 - ●ホームページやポスター掲示による啓発活動の実施(継続)

プロセス指標

交通安全や街頭における犯罪撲滅キャンペーンや教室の実施 ⇒ 月2回以上

【経営課題3】 子どもの未来をみんなで育むまちづくり(その1)

3-1 子育て

5 予算額

14,425千円

■ 課題認識

児童虐待の懸念や子どもの貧困等、外からは見えにくい家庭内の課題を早期に見つけ支援につなげる 必要がある。

保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう仲間づくりや気軽に相談できる場が必要である。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

安心して子育てができる環境づくり

- ・重大な児童虐待を防止するため、地域の関係機関・団体とのネットワークの拡充により、子ども・ 子育て支援体制を強化し見守りや支援を要する子ども・世帯の早期発見・支援につなげる。
- ・子育て世帯の二ーズに沿ったより交流・相談しやすい場を提供するとともに、こうした子育て支援 情報の発信を強化する。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

子育て支援ネットワークの拡充により、発見した子ども・世帯の継続フォロー数(見守りや支援につながった数) ⇒ 令和9年度末までに延べ70件以上

■ アウトカム指標の達成状況 (定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A:達成 B:未達原	戊	4年度実績
5年度実績:53件/2年度~5年度:延べ89件	А	2年度~4年度:延べ36件



森ノ宮キューズモールでの個別子育て相談会 を開催しました。





子育でサークル 「パンジーひろ ば」は、同年代の 子どもを育ててい る者同士、情報交 換をしたり、保育 士や保健師に気軽 に相談してもらえ る場です。

マンションの集会室 でもパンジーひろば を開催しました。

【経営課題3】 子どもの未来をみんなで育むまちづくり(その1)

3-1 子育て

6年度予算額

18,184千円













● 今後の方針

「パンジーひろば」を区役所のみならず出張型でも引き続き開催するとともに、地域の子育てサークル等区内で気軽に立ち寄れる場の周知に取り組む。

休日に実施している催しや子育て支援施設など、「父親も一緒に参加しやすい」を切り口とした子育て支援情報の発信を強化する。

令和6年4月よりこども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の更なる連携を図ることで、 妊娠期からの切れ目のない支援を強化する。

● 主な戦略

安心して子育てができる環境づくり

・重大な児童虐待を防止するため、地域の関係機関・団体とのネットワークの拡充により、子ど も・

子育て支援体制を強化し、見守りや支援を要する子ども・世帯の早期発見・支援につなげる。

・子育て世帯の二ーズに沿ったより交流・相談しやすい場を提供するとともに、こうした子育て支援

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

区内保育施設等との連携により、新たに見守りや支援につながった子ども・世帯数

- ⇒ 令和9年度末までに70件以上
- 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)
- 重大な児童虐待「ゼロ」に向けた取組
 - ●訪問支援員のアウトリーチによる区内保育施設等との連携・ネットワークの更なる拡充に向けて、 連絡調整員を配置し、継続した相談・支援体制を強化(拡充)
 - ●区が虐待の通報を受けた時には、こども相談センターと連携し子どもの安全確認を実施(48時間以内)(継続)

プロセス指標

保育施設等との連携数 ⇒ 全84施設(100%)

- 2 子育て相談の充実と子育て支援情報の発信強化
 - ●子育て相談会(サークル)「パンジーひろば」の開催(30回)(継続)
 - ●子育て講座の開催(18回)(継続)
 - ●区広報紙・HP・SNSによる子育て情報の発信(継続)
 - ●保育コンシェルジュによる保育所利用等の相談・情報提供(継続)

パンジーひろば参加者アンケートで「子育ての不安・悩みの解決に役立った」

プロヤス指煙

【経営課題3】 子どもの未来をみんなで育むまちづくり(その2)

3-2 子どもの学び

5 予算額

8,695千円

■ 課題認識

子どもたちの学びを取り巻く環境は複雑化しており、新型コロナウイルス感染症を背景とした不登校児童生徒の増加等、学校園の実情に応じた学習環境づくりの支援が必要である。

区内では外国につながる児童生徒等が増加している。学習支援だけではなく、本人や保護者が地域で 孤立しないようきめ細やかな支援が求められる。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

子どもや学校を応援する学びのネットワークづくり

- ・区の子どもたちを取り巻く課題や学校園の二ーズに応じた学びの支援に取り組む。とりわけ、新型 コロナウィルス感染症拡大を背景に増加している不登校児童生徒の支援に重点的に取り組む。
- ・外国につながる住民が社会を担い自分らしく活躍できるよう、外国につながる子どもや若者、子育 て中の保護者に対し、それぞれのライフステージに応じた支援を行う。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

登校支援等を実施した児童生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善が見られる割合

⇒ 令和9年度末までに50%以上

■ アウトカム指標の達成状況(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※	《A:達成 B:未達成		4年度実績
70%		Α	_

サポーターによる不登校児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援を区内公立全小中学校で実施



【経営課題3】 子どもの未来をみんなで育むまちづくり(その2)

3-2 子どもの学び

6年度予算額

11,995千円













● 今後の方針

不登校の児童生徒一人ひとり背景や原因が異なることから、教職員やスクールソーシャルワーカー 等と情報共有をしながら、不登校支援の拡充に取り組んでいく。また、外国につながる子どもの保 護者が孤立し、困難な状況に陥ることが多いため相談支援に取り組んでいく。

児童生徒が円滑に学校生活を送れるよう、また教職員の負担軽減にもつながるよう学校現場のニー ズに沿った支援に取り組む。

● 主な戦略

子どもや学校を応援する学びのネットワークづくり

- ・区の子どもたちを取り巻く課題や学校園のニーズに応じた学びの支援に取り組む。 とりわけ、新型コロナウィルス感染症拡大期以降増加している不登校児童生徒の支援に重点的
- ・外国につながる住民が社会を担い自分らしく活躍できるよう、外国につながる子どもや若者、 子育て中の保護者に対し、それぞれのライフステージに応じた支援を行う。

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

登校支援等を実施した児童生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善が見られる割合 ⇒ 令和9年度末までに50%以上

● 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)

- 子どもと学校を応援する学びのサポート
 - ●サポーターによる不登校(傾向を含む)児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援(拡充)
 - ●体力向上を目的としたスポーツ専門事業者の派遣(小学校)や英検受験料の助成(中学校) (拡充)
 - ●サポーターによる発達障がい等の幼稚園児への支援(継続)
 - ●読書活動の推進や、頑張っている子どもたちへの表彰活動(継続)

プロセス指標

学校を応援する区のサポートが、子どもの学びや学校園の円滑な運営に役立っ ていると思う学校園長の割合 ⇒ 80%

2 多文化共生に向けた環境づくり

- ●外国につながる児童生徒の保護者に対する困りごと相談・サポート(継続)
- ●外国につながる児童生徒が日本語の力を身につけ安定して学習できることを目的としたサポー ターの配置 (継続)
- ●外国につながる保護者等への就労に向けた日本語学習等の支援、若者が困りごと等を自由に話 し交流する機会の提供などのライフステージに応じた支援(継続)

プロセス指標

困りごと相談やサポートを受けた保護者のうち、学校園の連絡事項等について 理解が進んだと思う割合 ⇔ 60%

【経営課題4】 誰もが幸せに暮らせるまちづくり(その1)

4-1 地域コミュニティ

5予算額

85,335千円

■ 課題認識

これまで培われてきた豊かなコミュニティが今後もまちの礎となるよう、高齢化や参加者の減少など 地域の事情に応じ、継続した支援が必要である。

地域とつながるきっかけが無い層・関心が薄い層が増えている。中央区の住民の9割以上がマンションに居住していること、価値観の多様化やライフスタイルの変化をふまえ、これまでとは違うより柔軟なつながりのあり方が求められている。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

つながりふれあう豊かなコミュニティづくり

- ・引き続き、地域の実情に応じたきめ細かな支援を行い、より多くの住民参加による自律的な地域 運営を促進する。
- ・マンションコミュニティへのアプローチから、地域活動全体への参加促進につなげるよう取り組む。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

区役所や地域とつながりができたマンションの数 ⇒ 令和9年度末までに延べ100棟以上

■ アウトカム指標の達成状況(定量評価)

5年度実績と達成状況	※A:達成 B:未達原	4年度実績	
3 2 棟		Α	_



【経営課題4】 誰もが幸せに暮らせるまちづくり(その1)

4-1 地域コミュニティ

6年度予算額

84,725千円

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS









● 今後の方針

マンションにお住まいで地域活動や福祉活動など行っている地域のキーパーソンに協力を求めながら啓発を進め、ゆるやかなつながりを促進していく。

引き続き「マンション防災」を切り口としてマンション居住者層にアプローチすることで、地域活動 に関心を持ち、町会等地域活動への参画を促していく。

● 主な戦略

つながりふれあう豊かなコミュニティづくり

- ・引き続き、地域の実情に応じたきめ細かな支援を行い、より多くの住民参加による自律的な地域 運営を促進する。
- ・マンションコミュニティへのアプローチから、地域活動全体への参加促進につなげるよう取り組む。

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

アウトカム指標

区役所や地域とつながりができたマンションの数

⇒ 令和9年度末までに延べ100棟以上

● 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)

- ●地域活動協議会への継続した支援
- ●地域活動協議会活性化セミナーの開催(1回)(継続)
- ●地域活動促進に向けた助言・支援(継続)
- ●各地域の実情に応じた支援制度の情報提供(20地域)(継続)

プロセス指標

地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることが出来ていると思う割合 ➡ 95%以上維持

2様々な地域活動情報の発信強化

- つながりの薄いマンションコミュニティに対し、地域での様々な活動を紹介することで地域活動の理解 促進を図る。
- ●区広報媒体やイベント等で地域活動の取組等を発信し参加促進を図る。(継続)

プロセス指標

区広報媒体やイベント等による地域活動情報の発信回数 ⇨ 20回以上

【経営課題4】 誰もが幸せに暮らせるまちづくり(その2)

4-2 地域福祉 5予算額 20,387千円

■ 課題認識

- ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう地域での居場所づくりや見守りなどの支援を広げるとともに、必要とする方はもとより、全ての区民にしっかりと周知していく必要がある。
- ・健康寿命を延ばすとともに、医療や介護が必要となっても自宅で暮らしていけるよう地域包括ケア システムの強化が必要である。
- ・社会から孤立し支援につながらない、または複合的な課題を抱え支援が困難となる方が支援につながるよう行政機関・地域・区民が一体となって取り組む必要がある。

■ 主な戦略(課題解決の方策)

健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

- ・見守り相談室や支援機関と地域が連携し、高齢者等の支援を必要とする人の把握に務め、見守り 活動の充実を図る。
- ・高齢者等の健康増進と介護予防活動などの支援に取り組むとともに、在宅高齢者福祉の機能強化・ 医療介護の連携強化を図る。
- ・誰もが誰かを「気にかけ、つながり、支え合える」まちとなるよう、見守りのしくみや高齢者支援等に関する情報発信を強化する。

■ アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

地域福祉コーディネーターによる新たに見守りを行った人数 ⇨ 令和4年度実績以上

■ アウトカム指標の達成状況(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A:達成	以 В:未達л	戈	4年度実績
341人		Α	227人





地域福祉コーディネーターによる見守り活動の様子。定期的な訪問や、配食サービスと併せた見 守りなど、それぞれの方に応じた見守りを行っています。

【経営課題4】 誰もが幸せに暮らせるまちづくり(その2)

4-2 地域福祉

6年度予算額

21,462千円

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS









● 今後の方針

高齢者の介護予防のためには、心と体の機能の維持改善が必要であるため、すべての高齢者が自身の 健康に関心を持ち、介護予防につながるよう多様な手法による情報発信に取り組む。

地域で実施される高齢者のつどいの場に、これまで参加したことのない方でも気軽に参加いただけるよう活動メニューの充実を図り、交流につなげていく。

● 主な戦略

健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

- ・見守り相談室や支援機関と地域が連携し、高齢者等の支援を必要とする人の把握に務め、見守り 活動の充実を図る。
- ・高齢者等の健康増進と介護予防活動などの支援に取り組むとともに、在宅高齢者福祉の機能強化・ 医療介護の連携強化を図る。
- ・誰もが誰かを「気にかけ、つながり、支え合える」まちとなるよう、見守りのしくみや高齢者支援等に関する情報発信を強化する。

● アウトカム指標(経営課題の進捗度合を示した指標)

アウトカム指標

地域福祉コーディネーターによる新たに見守りを行った人数

⇒ 令和5年度実績以上(261人:実績見込み)

- 主に取り組むこと(令和6年度の主な計画)
- 見守り相談室などによる見守り活動の充実
 - ●見守り相談室によるアウトリーチの充実(継続)
 - ●地域福祉コーディネーター(17名)を配置し、地域や民生委員と連携した見守り活動の実施
 - 区広報紙やHPでの情報発信(継続)

プロセス指標

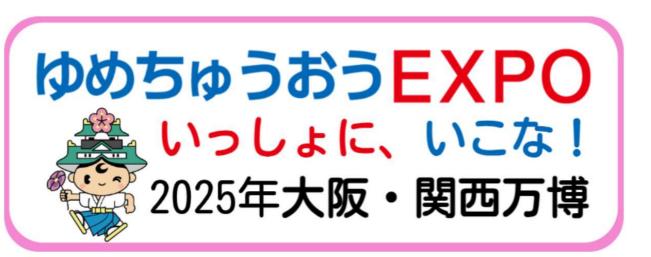
地域福祉コーディネーターによる相談・対応件数

⇒ 令和5年度実績以上(15,600件:実績見込み)

- 2 介護予防活動の支援や医療介護連携の強化
 - ●いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操等の介護予防活動の普及・支援(継続)
 - ●在宅医療・介護連携施設マップシステムの情報更新・改善(継続)
 - ●区広報紙やHPでの情報発信(継続)

地域で開催するいきいき百歳体操等の参加者数(登録者数)

プロヤス指煙





2024年4月19撮影(日公益社団法人2025年日本国際博覧会協会公表資料)



SUSTAINABLE GOALS



































